仁賀保高校の総合的な探究の時間

総合的な探究の時間 とは

文部科学省が定めた、教科の枠を越えて学ぶ授業で、生徒自身がテーマを設定し、課題解決力や、自身の生き方を考える力を育みます。

仁賀保高校では、デジタル人材の育成と地域との関わりを重視した探究を行います。

1年生 にかほ市を知る

「もっと知りたい」から探究が始まる

1年生の探究は、にかほ市の自然、歴史、産業、地域課題などを幅広く学ぶところから始まります。地域の方や専門家による講話や、フィールドワークなど実際に地域に足を運ぶ活動を通して、様々な視点で理解を深めていきます。





2年生 問いを見つけ、深める

アイデアを具体的なプロジェクトへ

2年生では、1年生で学んだ内容をもとに自分の興味のあるテーマを持ち寄り、グループに分かれて深掘りしていきます。地域の方や専門家の協力のもとで調査を進め、地域のためのプロジェクトを組み立てていきます。





3年生 学びを、にかほ市に発信・還元する

プロジェクトを地域で実践する

3年生では、これまでの探究で深めてきたテーマやアイデアを、地域での実践へとつなげます。

今年度は、蚶満寺の魅力を伝えるPR動画や土産物、小学生向けの環境教材、にかほ市の魅力を発信するマスコットやオンラインコンテンツなど、それぞれのテーマをもとにプロジェクトを進めています。

地域の方や専門家などと連携しながら、自分たちのアイデアを具体的な形にし、地域への発信・還元を目指します。





仁賀保高校の総探カリキュラム

学年ごとに学びを積み重ね、高校3年間を通してプロジェクトの設計から実践まで取り組みます。3年間の探究活動を通して、地域と関わりながら自ら考え、行動し、未来をつくる力を育んでいます。

また、情報メディア科の特色を生かし、デジタル技術を活用した探究や表現にも挑戦しています。

